

下中たまねぎが高齢者と子供の架け橋に



小田原市長も
ご出席ください
ました。



園児が育てた
玉ねぎが...



橘地区家庭菜園研究会指導のもと、下中幼稚園の園児が栽培した「下中たまねぎ」をたちばなの里厨房が調理し、同じテーブルで食事会を開きました。園児のみなさんから“笑顔と元気”をもらい、入居者様も自然と顔がほころびました。



みんなで食べると

おいしいね♪



おいしいカレーに
なりましたー！



様々なメディアに取り上げて頂きました。

<編集後記>

今回で2回目を迎える「下中たまねぎ」による交流会。下中幼稚園や橘地区家庭菜園研究会を始め、各関係者の皆様のご協力により実現され、小田原市の加藤市長にもご出席頂きました。誠にありがとうございました。高齢者、子供、地域が一体となることの大切さを改めて考える日になりました。 武田

発行元：介護老人福祉施設たちばなの里
発行日：平成28年8月25日
住所：小田原市小船213-1
TEL：0465(44)1100
HP：www.sakimura-group.com

先日、流しそうめんから、また楽しい交流の食事会。ツバメ親子が飛び交う坂道を下中幼稚園児、元気よく奏所と踊りを楽しみ、園児が栽培した下中たまねぎたっぷりのカレーライスを園児同席で美味しく頂きました。子供達とあまり接する事がありませんで、武持たちがどてもホットになりました。また交流会のチャンスがある事を願っております。前回の戦後の続き。衣食に窮乏な時代、私の親は子供のために慣れない畑の仕事を、菜を頂き生計を立てて頑張りつたようです。着るものは再生し、染めたり毛糸を編み返したものでした。学校は給食などありません。お弁当を持ってこない子は昼時教室に居ません。冬はオモ子を持参しストーブで焼いて、教室が良い匂いでいっぱいでした。続く